

**令和 6 年度  
痴漢被害実態把握調査  
報告書概要版**



# 調査実施要項

## ■ 調査目的

- 痴漢は車両内や駅構内など公共空間での発生が多く、加害者との面識がない割合が高いことから被害の申告をためらう暗数化しやすい犯罪である。
- そこで、若年層を中心に都内の痴漢被害の実態及びその傾向を調査し、その調査結果を踏まえて痴漢被害をなくするための具体的な対策につなげる。
- 令和5年度は、初の大規模調査として被害実態を把握するため生涯経験を中心に調査を実施したが、継続的に経年変化を把握するため、令和6年度はここ1年の被害状況を中心に調査を実施。

## ■ 痴漢の定義

| 禁止される行為                   | 内容                                                                                                      |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 痴漢行為<br>(5条1項1号)          | 衣服その他の身に着ける物の上から又は直接に人の身体に触れること。<br>・ 体を触られた<br>・ ボタン等を外された<br>・ 体を密着された<br>・ 髪を触られた                    |
| 卑わいな言動<br>(5条1項3号)<br>の一部 | 社会通念上、性的道義観念に反する下品でみだらな言語又は動作。<br>・ 匂いをかがれた<br>・ 息を吹きかけられた<br>・ カバン等を押付けられた<br>・ AirDrop等で画像を送られた・見せられた |

※盗撮行為（5条1項2号）は対象外。

## ■ 調査方法

- WEBアンケート調査

# 調査実施要項

## ■ WEBアンケート調査

- 【目的】若年層を中心に都内の痴漢被害の実態及び傾向の把握
- 【実地方法】オンラインアンケート
- 【対象】スクリーニング調査：一都三県在住の16～69歳の方
- 【実施期間】2024年8月1日～16日

### (1) 被害者調査

- 【対象】東京都内在住または東京都に通勤・通学等をする16～39歳の方で、直近1年間に電車内、駅構内で痴漢にあったことがある方
- 522名（16～24歳 電車内243名、駅構内9名）  
（25～39歳 電車内261名、駅構内9名）

### (2) 第三者調査

- 【対象】東京都内在住または東京都に通勤・通学等をする16～69歳の方で、直近1年間に電車内、駅構内で痴漢を目撃または痴漢の現場に居合わせたことのある方
- 402名（電車内372名、駅構内30名）

※被害者調査、第三者調査について、昨年度調査ではここ1年での被害、目撃・居合わせ経験に絞っていない為、比較の際は注意が必要

# 調査実施要項

## (3) 共通調査

- 被害者（522名）
- 第三者（402名）
- 痴漢被害経験及び痴漢目撃経験無しの方（613名）

※痴漢被害経験及び痴漢目撃経験無しの方のみ性別、年代別に、人口統計に準じた回答比率となるように割付

### 割付

| 年代     | 男性  | 女性  | 合計  |
|--------|-----|-----|-----|
| ～19歳   | 25  | 25  | 50  |
| 20-29歳 | 45  | 45  | 90  |
| 30-39歳 | 45  | 45  | 90  |
| 40-49歳 | 45  | 45  | 90  |
| 50-59歳 | 45  | 45  | 90  |
| 60-69歳 | 45  | 45  | 90  |
| 合計     | 250 | 250 | 500 |

### 有効回収数

| 年代     | 男性  | 女性  | ノンバイナリー | 合計  |
|--------|-----|-----|---------|-----|
| ～19歳   | 31  | 31  | 3       | 65  |
| 20-29歳 | 48  | 50  | 7       | 105 |
| 30-39歳 | 65  | 63  | 4       | 132 |
| 40-49歳 | 58  | 50  | 1       | 109 |
| 50-59歳 | 54  | 52  | 0       | 106 |
| 60-69歳 | 51  | 44  | 1       | 96  |
| 合計     | 307 | 290 | 16      | 613 |

## ■ 調査実施機関

- 株式会社イード

# 痴漢被害・目撃経験①

## ■ 痴漢被害経験（生涯経験）

場所を問わない被害率は39.0%、電車関連は36.2%となり、昨年度調査より増加。

- 東京都在住および東京都へ通勤・通学する16～69歳の方のうち、生涯で痴漢被害を経験した（「ある」、「確証はないがおそらくある」との回答の和）方の比率（＝痴漢被害率）は、39.0%となった。（SC13）
- そのうち、電車に関連して生じている被害（電車内もしくは／及び駅構内での被害）の被害率は36.2%となる。（SC14）
- いずれも、昨年度調査と比較して増加している。

生涯の痴漢被害率（被害場所は複数回答）

| 被害場所               | 被害率   |       |
|--------------------|-------|-------|
|                    | R5調査  | R6調査  |
| n数                 | 8,284 | 6,315 |
| 痴漢被害（場所を問わず）       | 29.9% | 39.0% |
| A.電車内              | 25.9% | 35.3% |
| B.駅構内              | 2.8%  | 3.7%  |
| C.電車関連（A and/or B） | 27.1% | 36.2% |
| D.バス内              | 1.4%  | 2.1%  |
| E.路上               | 4.6%  | 5.5%  |
| F.商業施設・店舗          | 1.8%  | 2.2%  |
| G.その他              | 0.5%  | 0.4%  |

## 痴漢被害・目撃経験②

### ■ 痴漢被害経験（ここ1年）

場所を問わない被害率は13.1%、電車関連は12.4%となり、昨年度調査より増加

- ここ1年間の被害に絞ると、痴漢被害を経験した（「ある」、「確証はないがおそらくある」との回答の和）方の比率（＝痴漢被害率）は、13.1%となった。（SC13）
- そのうち、電車に関連して生じている被害（電車内もしくは／及び駅構内での被害）の被害率は12.4%となる。（SC14）
- いずれも、昨年度調査と比較して増加している。

ここ1年の痴漢被害率（被害場所は複数回答）

| 被害場所               | 被害率   |       |
|--------------------|-------|-------|
|                    | R5調査  | R6調査  |
| n数                 | 8,284 | 6,315 |
| 痴漢被害（場所を問わず）       | 8.3%  | 13.1% |
| A.電車内              | 7.0%  | 12.0% |
| B.駅構内              | 0.8%  | 1.6%  |
| C.電車関連（A and/or B） | 7.7%  | 12.4% |
| D.バス内              | 0.6%  | 1.0%  |
| E.路上               | 0.5%  | 0.8%  |
| F.商業施設・店舗          | 0.2%  | 0.4%  |
| G.その他              | 0.1%  | 0.1%  |

# 痴漢被害・目撃経験③

## ■ 電車内・駅構内での痴漢被害経験（生涯経験：全体）

被害率は36.2%（女性56.3%、男性15.2%）となり、いずれも昨年度調査より増加

- 電車内・駅構内での痴漢被害率（生涯経験率）は36.2%となり、昨年度調査より増加している。（SC13）

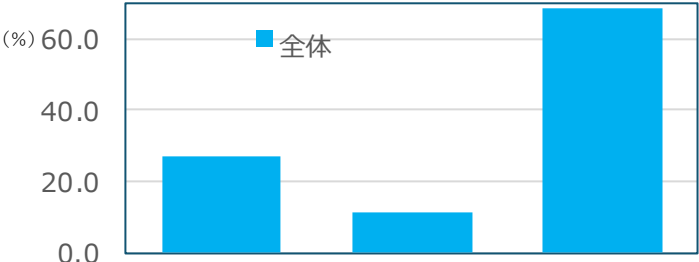
## ■ 電車内・駅構内での痴漢目撃・居合わせ経験（生涯経験：全体）

目撃・居合わせ経験率は19.7%となり、昨年度調査より増加

- 電車内・駅構内での痴漢目撃・居合わせ率（生涯経験率）は19.7%となり、昨年度調査より増加している。（SC16）
- 痴漢行為に気づき、痴漢を防ぐという第三者としての役割を果たし得る方々が、一定数存在し、増加している。（SC16）

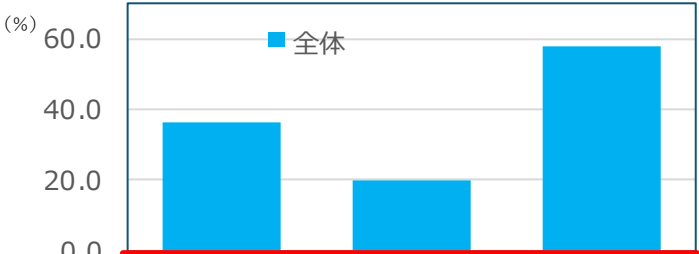
電車内・駅構内の痴漢被害経験および目撃・居合わせ経験（複数回答）

【R5調査】



|    | n 数   | 被害経験あり | 目撃・居合わせ経験あり | 被害・目撃等経験なし |
|----|-------|--------|-------------|------------|
| 全体 | 8,284 | 27.1   | 11.2        | 68.7       |

【R6調査】



|    | n 数   | 被害経験あり | 目撃・居合わせ経験あり | 被害・目撃等経験なし |
|----|-------|--------|-------------|------------|
| 全体 | 6,315 | 36.2   | 19.7        | 57.9       |

※被害経験、目撃・居合わせ経験の双方にあった方がいるため、全体を足して100%とはならない。

# 痴漢被害・目撃経験④

## ■ 電車内・駅構内での痴漢被害経験（生涯経験：性・性自認別、年代別）

- 性・性自認別では、被害の多くは女性であり、女性に絞ると被害率は56.3%まで上昇する。一方、男性15.2%、ノンバイナリー／Xジェンダー35.7%の被害率となっており、痴漢被害は女性だけに限るものではない。また、いずれも昨年度調査より増加している。（SC1・SC13）
- 生涯被害をみると、20代～40代で4割前後と多く、10代、50代以上で2～3割となっており、多くの年代で痴漢を経験してきたことがうかがえる。（ここ1年に絞ると10代、20代が増加している）（SC2・SC13）

## ■ 電車内・駅構内での痴漢目撃・居合わせ経験（生涯経験：性・性自認別、年代別）

- また、目撃・居合わせ率は、性・性自認別、年代別に大きな差がない。（SC1・SC16、SC2・SC16）

### 電車内・駅構内の痴漢被害経験および目撃・居合わせ経験（複数回答）

【R5調査】

|         | n 数   | 被害経験あり | 目撃・居合わせ<br>経験あり | 被害・目撃等<br>経験なし |
|---------|-------|--------|-----------------|----------------|
| 全体      | 8,284 | 27.1   | 11.2            | 68.7           |
| 男性      | 3,474 | 7.8    | 10.5            | 85.1           |
| 女性      | 4,750 | 41.1   | 11.7            | 56.6           |
| ノンバイナリー | 56    | 33.9   | 16.1            | 62.5           |
| その他     | 4     | -      | -               | 100.0          |
| 19歳以下   | 793   | 27.0   | 8.3             | 70.2           |
| 20～24歳  | 1,361 | 29.5   | 11.2            | 67.3           |
| 25～29歳  | 1,281 | 25.8   | 13.0            | 70.4           |
| 30～34歳  | 1,263 | 24.3   | 11.1            | 71.2           |
| 35～39歳  | 1,335 | 27.3   | 10.5            | 68.2           |
| 40～44歳  | 313   | 33.5   | 13.4            | 62.3           |
| 45～49歳  | 417   | 33.6   | 12.9            | 62.4           |
| 50～54歳  | 487   | 29.4   | 9.7             | 66.3           |
| 55～59歳  | 460   | 25.0   | 12.8            | 68.7           |
| 60～64歳  | 356   | 21.3   | 9.8             | 72.5           |
| 65歳以上   | 218   | 21.1   | 13.3            | 69.3           |

※全体比 +10pt以上(=■) +5pt以上(=■) -5pt以下(=■) -10pt以下(=■)

【R6調査】

|         | n 数   | 被害経験あり | 目撃・居合わせ<br>経験あり | 被害・目撃等<br>経験なし |
|---------|-------|--------|-----------------|----------------|
| 全体      | 6,315 | 36.2   | 19.7            | 57.9           |
| 男性      | 3,070 | 15.2   | 19.6            | 74.5           |
| 女性      | 3,216 | 56.3   | 19.8            | 42.1           |
| ノンバイナリー | 28    | 35.7   | 17.9            | 57.1           |
| その他     | 1     | 100.0  | -               | -              |
| 19歳以下   | 517   | 29.4   | 13.7            | 66.2           |
| 20～24歳  | 813   | 42.3   | 23.7            | 52.9           |
| 25～29歳  | 973   | 42.4   | 23.2            | 53.5           |
| 30～34歳  | 940   | 36.6   | 20.9            | 58.3           |
| 35～39歳  | 1,068 | 37.7   | 20.5            | 56.0           |
| 40～44歳  | 324   | 40.4   | 16.7            | 54.9           |
| 45～49歳  | 369   | 40.9   | 18.2            | 53.7           |
| 50～54歳  | 431   | 30.4   | 15.3            | 62.2           |
| 55～59歳  | 398   | 26.1   | 19.6            | 63.3           |
| 60～64歳  | 311   | 25.1   | 15.4            | 66.6           |
| 65歳以上   | 171   | 22.2   | 15.2            | 68.4           |

※被害経験、目撃・居合わせ経験の双方にあった方がいるため、全体を足して100%とはならない。

# 痴漢被害の実態①

## ■ 痴漢被害にあいやすい状況・場所

痴漢被害にあいやすい状況・場所として下記の傾向が確認された。

- 昨年度調査時より、通勤・通学等で電車利用が増加※（人の流れが戻ってきている）していることも被害増加の一因と推測される。

※国土交通省（都市鉄道の混雑率調査結果を公表（令和5年度実績）の報道発表資料より

[https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo04\\_hh\\_000130.html#:~:text=%E4%BB%A4%E5%92%8C5%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E3%81%AE%E4%B8%89%E5%A4%A7%E9%83%BD%E5%B8%82](https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo04_hh_000130.html#:~:text=%E4%BB%A4%E5%92%8C5%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E3%81%AE%E4%B8%89%E5%A4%A7%E9%83%BD%E5%B8%82)

| 項目     | 課題                                    |       |
|--------|---------------------------------------|-------|
| 時期     | 4～5月（新学期・新年度）、7月（軽装になる時期）             | （Q5）  |
| 時間帯    | 朝のラッシュ時間帯（昨年度調査：生涯経験より増加）             | （Q6）  |
| 混雑状況   | 混雑状況が高くなるほど被害が多い（昨年度調査：生涯経験より、より強い傾向） | （Q8）  |
| 車両内の位置 | ドア付近およびドアとドアの間のスペース                   | （Q10） |
| その他    | スマートフォン使用時が多い（昨年度調査：生涯経験より増加）         | （Q11） |

## 痴漢被害の実態②

### ■ 痴漢被害の内容

**「衣服ごしに/直接体を触られる」、「密着される」が多く、直接接触られる、密着されるは増加。**

- 電車内では、「衣服ごしに体を触られた」（61.9%）、「体を密着された」（44.4%）、「衣服の下から体を触られた（直接接触された）」（16.7%）の順が多い。（Q13）
- 混雑状況の増加のためか、より密着度の高い被害が増加（昨年度調査：生涯経験と比較）している様子が見える。

### ■ 被害者の心情と対応

**電車内では「恐怖」が約半数を占め、「我慢した・何もできなかった」が最多。**

#### ● 心情

- 電車内では、「怖かった」（46.8%）、「驚いた」（41.3%）、「怒りを感じた・反撃したいと思った」（28.0%）、「身体が動かなかった・声が出なかった」（19.8%）、「逃げたいと思った」（18.7%）の順が多い。（Q18）
- 駅構内では、回答数が少ないことに留意が必要だが、「怒りを感じた・反撃したいと思った」（38.9%）、「恥ずかしいと思った」/「身体が動かなかった・声が出なかった」（ともに33.3%）の順が多い。（Q18）

#### ● 対応

- 電車内では、「我慢した・何もできなかった」（39.1%）、「逃げた・移動した」（26.4%）、「持ち物でブロックした」（18.5%）、「身体を動かして加害者（痴漢）を止めようとした」（11.5%）の順が多い。（Q16）
- 16-24歳の若い層で、「我慢した・何もできなかった」がやや多い。（Q16）
- 駅構内では、回答数が少ないことに留意が必要だが、「逃げた・移動した」/「周囲にアプリを使用して助けを求めた」/「加害者（痴漢）を睨んだ」（いずれも27.8%）の順が多い。（Q16）

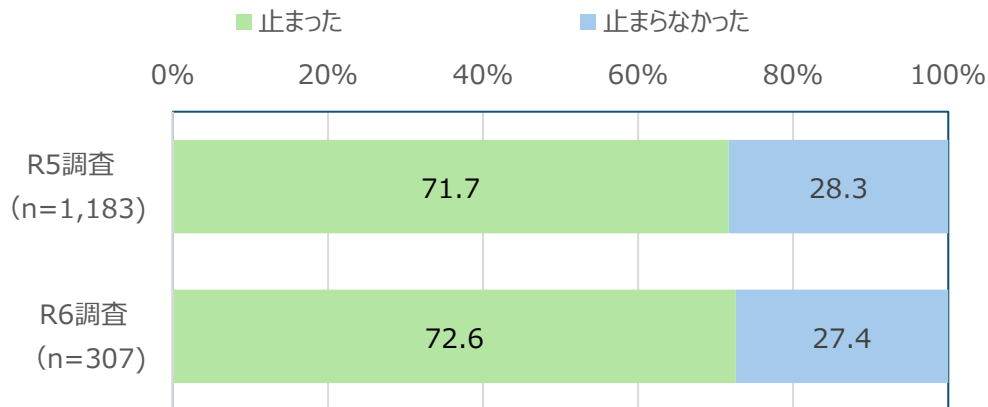
# 痴漢を止める対応①

## ■ 痴漢被害にあったときの対応

多くの痴漢は、被害者が対応を取れば止まることが多い。

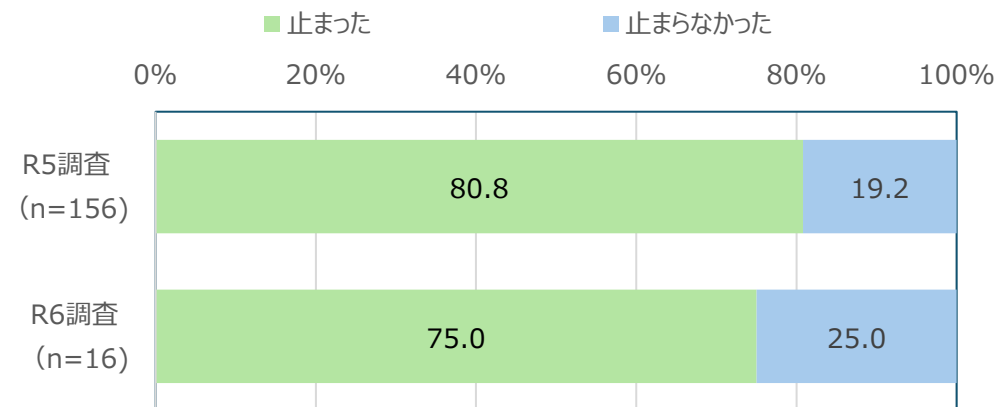
- 電車内では、痴漢行為を被害者がやめさせたケースは2割弱程度（Q14）。被害者が対応を取った場合には、痴漢が「止まった」とする回答が7割強に達した。（Q17）
- 駅構内では、回答数が少ないことに留意が必要だが、被害者が対応を取った場合には、痴漢が「止まった」とする回答が75.0%で、昨年度調査（生涯経験）より「止まらなかった」が増加している。（Q17）
- 但し、前ページのように「我慢した・何もできなかった」被害者も多く、被害者だけで対処することは難しい。

### 【電車内】



Rn数はQ16で「1 我慢した・なにもできなかった」と回答した方以外

### 【駅構内】



## 痴漢を止める対応②

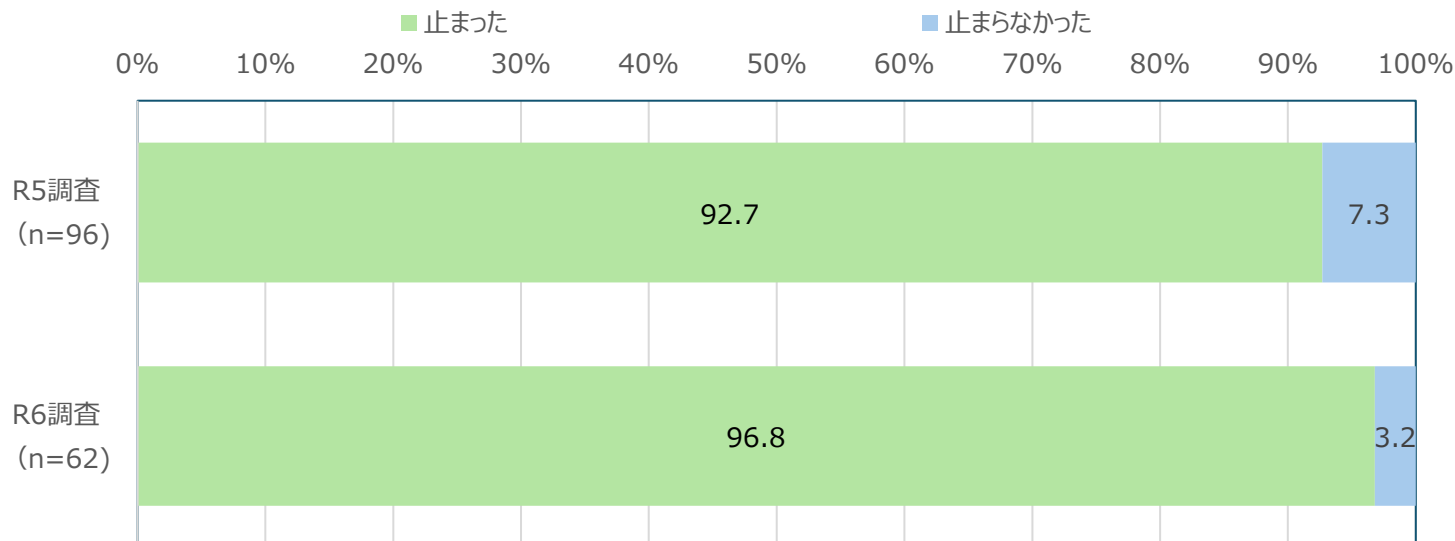
### ■ 痴漢被害を目撃した時の対応

多くの痴漢は、第三者が対応を取れば止めることができる。

- 周囲の人が痴漢に気づいたと回答した被害者は電車内で2割強となり、昨年度調査（生涯経験）よりは増加している。（Q19）
- 痴漢行為を第三者がやめさせたケースは電車内で1割程度にとどまる。（Q14）（駅構内はサンプル数が少ないので割愛）
- 一方、痴漢行為に気づいた場合に、周囲の人が「助けてくれた」と回答する被害者は5割程度となっているが、昨年度調査（生涯経験）より「助けてくれなかった」が増加している。（Q20）
- 被害者を助けた方法としては、①直接、加害者の行為を止めた、②加害者と引き離す、③被害者に声をかける等が挙げられた。（Q21）
- 第三者が対応を取った場合に、痴漢が「止まった」とする被害者の回答は96.8%に達した。（Q22）

【電車内】

n数はQ20で「1助けてくれた」と回答した方のみ



## 痴漢を止める対応③

### ■「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方と介入行動

「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方の認知率は36%程度にとどまる。

次に痴漢を目撃したら何らかの「行動を取りたい」は半数を占める。

- 「周囲の人が痴漢を防ぐ」との考え方の認知率は36%程度にとどまる。(SC27)
- また、次に痴漢を目撃したら「行動を取りたい」との回答は約半数。被害状況別では、被害者兼目撃居合わせで66.9%、目撃・居合わせで63.9%、被害者で57.1%、被害・目撃経験なしで41.6%となっており、被害も目撃も経験無しの方の意識が低いことがわかった。(Q53)
- 痴漢の被害や、周囲の人が痴漢を防ぐことへの考え方の回答状況から、「痴漢は重大な犯罪である」(75.1%)や「周りの人が助けると被害を止めることができる」(66.2%)ことは多くの人々が認識しつつも、「加害者(痴漢)とトラブルになるかもしれない」(70.2%)、「助けた後に、どのような結果になるかが分からない」(65.6%)などの不安を抱いている状況が明らかになった。(Q52) ※カッコ内の数字は「とてもよくあてはまる」、「よくあてはまる」との回答の和

## 届け出・連絡状況①

### ■ 届け出・連絡・相談状況、届け出等しなかった理由

電車内で痴漢被害後の届け出・連絡相談は5割程度にとどまる。

届け出・連絡・相談をしない理由は「めんどろ」「時間が無い」。

- 痴漢被害を誰にも連絡等していないとの回答が、電車内では、被害直後では5割強、被害のしばらく後ではほぼ5割となった。駅構内では、被害直後では3割強、被害のしばらく後では3割弱となった。いずれも昨年度調査（生涯経験）より低くなっている。（Q23）
- 届け出・連絡・相談等をしない2大理由は、「めんどろだったから」、「時間がなかったから」。朝のラッシュ時には、遅刻等できないことが背景に挙げられる。また、男性で「めんどろだったから」が多い。（Q24）

### ■ 相談機関への相談状況、相談支援機関の対応状況

相談機関へ相談した被害者は数%にとどまる。

痴漢被害相談機関の認知状況は「知っているものはない」が半数以上。

- 相談機関へ相談した被害者は数%と少ない。（但し、駅構内で被害直後は11%まで増加している）（Q23）
- 相談しなかった理由として、「どのような相談機関があるか不明」、「相談機関の連絡先がわからない」との回答が5～6%強程度。（Q24）
- 痴漢被害相談機関の認知状況は、「知っているものはない」が半数以上を占めており、知っている機関では、「性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター」（19.2%）、「警視庁総合相談センター」（15.8%）、「東京都女性相談支援センター」（12.3%）などとなっている。（Q50）
- また、被害・目撃経験なし者については、知っている機関はないが7割を超える。（Q50）

# 痴漢撲滅に向けた考え・行動①

## ■ 痴漢撲滅のために重要なこと

痴漢撲滅に向けて重要だと考える事項として、下記等が挙げられた。（Q55）

- 痴漢は性犯罪という認識を広めること（63.8%）
- 被害者が責められない社会を実現すること（49.6%）
- 痴漢に関する誤った認識を正すこと（39.5%）
- 周囲の人も当事者という認識を広めること（35.4%）

## ■ 痴漢撲滅に向けた取り組み

痴漢撲滅に向け、効果がありそうな取り組みとして、下記等が挙げられた。（Q58）

- 防犯カメラの設置（67.8%）
- 防犯ブザーの普及（43.9%）
- 届け出・連絡の簡素化・簡略化（36.4%）
- 痴漢の厳罰化（31.6%）
- 匿名で行政の相談窓口へ連絡・相談（被害時）（27.4%）
- 匿名で行政の相談窓口へ連絡・相談（事後）（23.6%）
- 被害・目撃を経験したことがある回答者では、「痴漢撲滅に賛同する人が共通で身に着けるアクセサリ」を効果的と考える回答がやや多かった。

## 痴漢撲滅に向けた考え・行動②

### ■ 被害者の助けとなること

「被害者の助けになると思う行動」は、「加害者と被害者を引き離す」が最多。

「自分ができそうな行動」は、「駅員に被害を証言する」が最多。

- 「被害者の助けになると思う行動」を聞いたところ、「加害者（痴漢）と被害者を引き離す」（75.6%）、「駅員に被害を証言する」（74.6%）、「駅員を呼ぶ」（71.2%）の順で肯定的回答が多かった。（※肯定的回答＝「とても助けになると思う」、「助けになると思う」との回答の和）（Q56）
- 被害者ではさらに、「被害者に話しかける」（74.3%）等も多い。（Q56）
- また、被害者では、全体と比較して「とても助けになると思う」比率が相対的に高い。（Q56）
- 「自分ができそうな行動」を聞いたところ、「駅員に被害を証言する」（62.6%）、「周りに気がついている人がいないか探す」（59.0%）、「被害者に目配せや合図をする」（58.4%）の順で肯定的回答が多かった。（※肯定的回答＝「とてもできそうだと思う」、「できそうだと思う」との回答の和）（Q57）
- 目撃・居合わせ者では、全項目で全体と比較して多くなっている。（Q57）
- 「加害者（痴漢）と被害者を引き離す」や「被害者に話しかける」については、被害者側からは「助けになる」という回答が多い。一方、「できそうだと思う」という回答では5割前後となり、ハードルが高い様子がうかがえる。（Q56、Q57）